

特別講義

# 明治大学 国際交流基金事業 「Researcher Mobility Grant」

## フランスの特異な事例：憲法院の政治的構成

2026年7月17日 金 16時開場  
16:30~18:00

明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー10階 1106教室

講演詳細（使用言語：フランス語@日本語通訳）

フランスの憲法院は、法律を「一般意思」の表明とみなし、司法による法律審査に慎重な共和主義の伝統を背景に、政治的経歴を持つ構成員が多いことを特徴としている。そのため、権利や自由に関する憲法上の要請が、その時々、政治的多数派の掲げる公益の前で相対化され、政治的影響の強い憲法裁判所が憲法の司法的保護を十分に担えるのかという疑問が生じている。本講演会では、フランスの憲法院が憲法の司法的保護をどこまで担えるのかについて考察する予定である。

講師紹介 サミー・ベンジーナ先生（フランス・ポワチエ大学公法学教授）

2017年4月 パンテオン・アサス  
（パリ第2）大学 法学博士号

2017年5月 憲法院博士学位論文賞受賞  
2018年9月～現在、ポワチエ大学公法学教授

Samy Benzina, Charles-Édouard Sénac (dir.), *Contentieux des droits et libertés constitutionnels: droit et pratique de la question prioritaire de constitutionnalité (QPC)*, (2025)

Samy Benzina, Julien Jeanneney, Dominique Rousseau (dir.), *La Doctrine et le Conseil constitutionnel* (2024)

Samy Benzina, *L'effectivité des décisions QPC du Conseil constitutionnel* (2017)



主催：明治大学 法学部専任教授／江藤英樹  
共催：明治大学 国際連携本部

参加無料